

重症外傷の疫学的研究に関するお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 27 年 10 月 19 日～平成 29 年 7 月 31 日

〔研究課題〕

重症外傷の疫学的研究

〔研究目的〕

重症外傷の疫学調査を行い、その病態生理と臓器不全発症機序を明確にすることにより重症外傷の診療に役立てることを目的としています。

〔研究意義〕

外傷では時々外傷性凝固障害(血が止まりにくくなったり、逆に固まりやすくなること)とそれに引き続いて臓器不全を起こすことがあります。しかし、この外傷性凝固障害についてはまだ良く分かっていないことが多く、現在も多くの研究が行われています。この研究では、同意していただいた患者さんから血液をご提供いただき、外傷性凝固障害と臓器不全(特に呼吸不全)に関連する血液因子を測定することで、この病気が起こる機序(理由)や起こる頻度を明らかにして、その治療法の向上に役立てます。

〔対象・研究方法〕

●対象となる患者さん

重症敗血症の患者さんで、試験参加全施設で実施の許可が得られた時点から 2 年(平成 27 年 8 月 1 日から平成 29 年 7 月 31 日(予定))の間に研究参加機関に入院する方

●利用するカルテ情報

- ①患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、体温、共存症、28 日・病院転帰等
- ②疾患情報：既往歴、疾患名、手術名、治療内容、輸血量等
- ③血液検査結果：生化学検査、肝腎機能、血液・電解質、凝固線溶系、血液ガス所見等
- ④感染情報：感染巣、細菌培養、使用抗菌薬情報
- ⑤画像検査所見：CT、MRI、各種エコー、単純X線写真等
- ⑥重症度評価所見：APACHEII, SOFA, SIRS, DICスコア等

〔研究機関名〕

- 1.北海道大学病院先進急性期医療センター
- 2.筑波メディカルセンター病院救急診療科
- 3.聖マリア病院救急科外傷センター
- 4.帝京大学医学部救急医学
- 5.順天堂大学救急・災害医学
- 6.地域医療機能推進機構中京病院統括診療部救命救急センター
- 7.北九州市立八幡病院 消化器・肝臓病センター、外科

- 8.大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター
- 9.東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野
- 10.兵庫医科大学救急・災害医学
- 11.防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門、同大病院救急部
- 12.佐賀大学医学部救急医学
- 13.川崎医科大学救急医学
- 14.大阪府泉州救命救急センター
- 15.東京医科歯科大学医歯学総合研究科救急災害医学分野
- 16.会津中央病院救命救急センター
- 17.川崎市立川崎病院救命救急センター
- 18.藤田保健衛生大学救命救急医学
- 19.杏林大学医学部救急医学
- 20.山口大学医学部附属病院先進救急医療センター
- 21.千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学
- 22.香川大医学部附属病院救命救急センター
- 23.慶應義塾大学医学部救急医学教室・総合診療教育センター
- 24.大阪府立急性期・総合医療センター高度救命救急センター
- 25.日本医科大学高度救命救急センター
- 26.産業医科大学救急医学講座
- 27.愛知医科大学附属病院高度救命救急センター
- 28.久留米大学高度救命救急センター

[研究責任者]

丸藤 哲 北海道大学病院 先進急性期医療センター、部長

行岡 哲男 日本救急医学会 代表理事

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[その他]

この研究は、保険適用が認められた標準的な治療を行いながら、検体のご提供を受けて実施するものです。検体の採取に際して何らかの健康被害が発生した場合は、担当医師は速やかに適切な処置を行います。その費用は、通常の診療と同様に、あなたの健康保険によりお支払いいただきます。この研究による特別な補償はありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 救急医学教授 坂本哲也
研究分担者： 救急医学准教授 池田弘人
住所： TEL: 03-3964-3023(医局直通)